

四半期報告書

(第69期第3四半期)

自 2020年7月1日

至 2020年9月30日

株式会社ナカニシ

栃木県鹿沼市下日向700番地

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(5) 大株主の状況	4
(6) 議決権の状況	5

2 役員等の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月9日
【四半期会計期間】	第69期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	株式会社ナカニシ
【英訳名】	NAKANISHI INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 中西 英一
【本店の所在の場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289)64-3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 横山 治男
【最寄りの連絡場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【電話番号】	(0289)64-3380（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 横山 治男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第3四半期 連結累計期間	第69期 第3四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	26,111,529	22,281,397	35,418,516
経常利益 (千円)	6,803,504	5,303,579	9,841,247
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	4,890,415	3,893,876	7,102,553
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,964,156	3,817,169	8,108,975
純資産額 (千円)	69,354,297	73,630,282	72,499,269
総資産額 (千円)	73,681,970	78,316,174	77,536,889
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	56.44	44.94	81.97
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	56.32	44.84	81.80
自己資本比率 (%)	93.8	93.8	93.2

回次	第68期 第3四半期 連結会計期間	第69期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.51	23.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響については、今後も注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウン等により、経済活動は大きく停滞し、大減速しております。また、ロックダウン解除後の経済の回復は遅く、第2波、第3波への懸念から将来の不確実性は増しております。

一方、国内についても、Go To キャンペーン等の景気刺激策が行われていますが、旅行、外食などのサービス消費を中心に景気は大きく落ち込んでおります。

このような事業環境の中、売上高については、歯科製品関連事業、工業製品関連事業及びその他事業の全ての事業について、減収となりました。また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても減益となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、22,281,397千円（前年同期比14.7%減）、営業利益は、5,116,719千円（前年同期比22.1%減）、経常利益は、5,303,579千円（前年同期比22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,893,876千円（前年同期比20.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（歯科製品関連事業）

歯科製品関連事業の売上高については、国内においては前年並みとなりましたが、それ以外の欧州、北米及びアジアにおいては、展示会の延期及び中止、歯科医院の一時閉鎖及び営業自粛等により、前年同期に比べて減収となりました。利益面についても、前年同期に比べて減益となりました。

この結果、売上高は、19,320,410千円（前年同期比14.0%減）、セグメント利益は、7,265,120千円（前年同期比17.1%減）となりました。

（工業製品関連事業）

工業製品関連事業の売上高についても、新型コロナウイルスの影響によるロックダウン等、経済活動の停滞により、国内、欧州、北米及びアジア等ほとんどの地域において前年同期に比べて減収となりました。利益面についても、前年同期に比べて減益となりました。

この結果、売上高は、2,024,554千円（前年同期比21.9%減）、セグメント利益は、734,500千円（前年同期比20.3%減）となりました。

（その他事業）

修理等サービスであるその他事業においては、売上高は、936,432千円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は、80,858千円（前年同期比53.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、78,316,174千円で、前連結会計年度末に比べ779,285千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1,916,440千円増加した一方で、投資有価証券が614,215千円及び受取手形及び売掛金が435,507千円減少したこと等によるものです。

負債の残高は、4,685,892千円で、前連結会計年度末に比べ351,728千円減少いたしました。主な要因は、流動負債のその他が398,195千円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は、73,630,282千円で、前連結会計年度末に比べ1,131,013千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が1,207,708千円増加したこと等によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1,793,907千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	375,000,000
計	375,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数 (株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2020年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	94,259,400	94,259,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	94,259,400	94,259,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	94,259,400	—	867,948	—	1,163,548

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,602,600	—	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 86,647,600	866,476	同上
単元未満株式	普通株式 9,200	—	同上
発行済株式総数	94,259,400	—	—
総株主の議決権	—	866,476	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式7株が含まれております。

② 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ナカニシ	栃木県鹿沼市下日向 700番地	7,602,600	—	7,602,600	8.07
計	—	7,602,600	—	7,602,600	8.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,432,235	30,348,676
受取手形及び売掛金	5,184,673	4,749,165
有価証券	942,853	743,742
金銭の信託	4,003,802	4,024,688
商品及び製品	4,549,919	4,856,745
仕掛品	3,585,640	3,695,492
原材料及び貯蔵品	2,402,554	2,751,442
その他	1,085,808	898,605
貸倒引当金	△88,340	△88,015
流動資産合計	50,099,147	51,980,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,188,340	15,270,950
機械装置及び運搬具	6,142,198	6,531,136
工具、器具及び備品	4,682,643	4,849,675
土地	1,994,942	1,988,649
建設仮勘定	384,891	310,297
減価償却累計額	△12,729,714	△13,842,801
有形固定資産合計	15,663,301	15,107,907
無形固定資産		
ソフトウェア	395,800	360,957
ソフトウェア仮勘定	135,128	280,796
のれん	200,031	163,355
その他	235,203	215,643
無形固定資産合計	966,163	1,020,752
投資その他の資産		
投資有価証券	8,297,337	7,683,121
関係会社株式	64,128	74,128
保険積立金	2,157,386	2,174,941
退職給付に係る資産	14	—
繰延税金資産	125,665	133,692
その他	387,453	143,134
貸倒引当金	△223,709	△2,048
投資その他の資産合計	10,808,276	10,206,970
固定資産合計	27,437,741	26,335,631
資産合計	77,536,889	78,316,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	762,096	697,499
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	475,483	468,055
賞与引当金	368,900	576,000
その他	2,408,061	2,009,866
流動負債合計	4,114,541	3,851,421
固定負債		
退職給付に係る負債	311,383	311,358
繰延税金負債	405,866	314,904
その他	205,828	208,207
固定負債合計	923,078	834,470
負債合計	5,037,620	4,685,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,171,507	1,180,482
利益剰余金	73,666,853	74,874,561
自己株式	△5,602,470	△5,593,641
株主資本合計	70,103,839	71,329,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,600,239	2,551,928
為替換算調整勘定	△414,731	△442,677
その他の包括利益累計額合計	2,185,508	2,109,251
新株予約権	207,481	189,688
非支配株主持分	2,440	1,990
純資産合計	72,499,269	73,630,282
負債純資産合計	77,536,889	78,316,174

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	26,111,529	22,281,397
売上原価	10,373,262	9,039,425
売上総利益	15,738,266	13,241,971
販売費及び一般管理費	9,169,904	8,125,252
営業利益	6,568,361	5,116,719
営業外収益		
受取利息	226,810	75,469
受取配当金	26,689	27,960
金銭の信託運用益	249,271	—
補助金収入	56,017	83,503
雑収入	112,926	121,535
営業外収益合計	671,716	308,469
営業外費用		
支払利息	5,726	2,763
金銭の信託運用損	—	17,157
為替差損	385,986	73,279
雑損失	44,860	28,407
営業外費用合計	436,573	121,608
経常利益	6,803,504	5,303,579
特別利益		
固定資産売却益	—	1,862
投資有価証券売却益	40,184	—
特別利益合計	40,184	1,862
特別損失		
固定資産売却損	601	315
固定資産除却損	13,941	3,396
特別損失合計	14,542	3,712
税金等調整前四半期純利益	6,829,145	5,301,730
法人税、住民税及び事業税	1,822,351	1,481,498
法人税等調整額	115,756	△73,996
法人税等合計	1,938,108	1,407,501
四半期純利益	4,891,037	3,894,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	622	351
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,890,415	3,893,876

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,891,037	3,894,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,107,643	△48,310
為替換算調整勘定	△1,034,524	△28,748
その他の包括利益合計	73,118	△77,058
四半期包括利益	4,964,156	3,817,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,963,764	3,817,619
非支配株主に係る四半期包括利益	391	△449

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (2019年1月1日 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (2020年1月1日 2020年9月30日)
減価償却費	1,219,653千円	1,290,233千円
のれんの償却額	55,627千円	36,707千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	1,559,606	18	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年8月9日 取締役会	普通株式	1,213,027	14	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	1,386,316	16	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金
2020年8月4日 取締役会	普通株式	1,299,851	15	2020年6月30日	2020年9月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,455,327	2,591,308	1,064,893	26,111,529	—	26,111,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,455,327	2,591,308	1,064,893	26,111,529	—	26,111,529
セグメント利益	8,763,319	921,689	174,009	9,859,018	△3,290,656	6,568,361

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,320,410	2,024,554	936,432	22,281,397	—	22,281,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,320,410	2,024,554	936,432	22,281,397	—	22,281,397
セグメント利益	7,265,120	734,500	80,858	8,080,479	△2,963,759	5,116,719

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	56円44銭	44円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	4,890,415	3,893,876
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	4,890,415	3,893,876
普通株式の期中平均株式数(株)	86,644,830	86,652,764
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	56円32銭	44円84銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	180,442	183,913
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	—	—

(重要な後発事象)

(持分取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2020年9月24日開催の取締役会において、当社グループが米国のデンタルチェアメーカーDCI International, LLC に出資し持分の33%を取得することを決議し、2020年10月12日付で持分取得契約を締結し、2020年10月16日付で取得いたしました。

なお、持分取得に伴い持分法適用会社となる見込みです。

1. 株式取得の目的

当社グループはデンタル用ハンドピース、モーター等のインスツルメンツの製造・販売を主力事業としており、米国において急成長を遂げつつあるデンタルチェアメーカーとの提携関係を活用し、米国におけるインスツルメンツ市場での中期的な成長シナリオを確実なものとするため。

2. 取得する会社の名称、事業内容

(1)名称：DCI International, LLC

(2)所在地：米国 オレゴン州

(3)事業内容：デンタルチェアおよび歯科医院用各種部品の製造・販売

(4)設立年：2005年

3. 株式取得の時期

2020年10月16日

4. 取得した持分の取得価額及び取得後の持分比率

(1)取得価額：取得価額は、相手先との守秘義務により非開示としていますが、専門家による株式価値評価を基に公正・妥当性を確保した上で、双方の協議によって決定しています。

(2)取得後の持分比率：33%

5. 支払資金の調達及び支払方法

自己資金により充当。

(重要な子会社の設立)

当社は、2020年10月19日開催の取締役会において、米国において以下の通り子会社を設立することを決議し、2020年10月19日に設立いたしました。

1. 設立の目的

米国における事業への投資のため（DCI International, LLCへの投資を専門とする会社）。

2. 設立する子会社の概要

(1)名称：NSK America Holdings inc.

(2)所在地：米国 デラウェア州

(3)事業内容：米国における事業投資

(4)資本金：5百万米ドル（約529,000千円）

(5)設立日：2020年10月19日

(6)出資額：5百万米ドル（約529,000千円）

(7)出資比率：100%

2 【その他】

2020年8月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- ① 配当金の総額 1,299,851千円
- ② 1株当たりの金額 15円
- ③ 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年9月29日

(注) 2020年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月9日

株式会社ナカニシ
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 齋 裕 二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 辻 雅 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナカニシの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナカニシ及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月9日
【会社名】	株式会社ナカニシ
【英訳名】	NAKANISHI INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 中西 英一
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	栃木県鹿沼市下日向700番地
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長中西英一は、当社の第69期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。